

# AMCoR

Asahikawa Medical University Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

旭川医科大学研究フォーラム (2015.2) 15,1:119-120.

第36回 日本手術医学会総会を終えて

平田 哲

## 学界の動向

# 第36回 日本手術医学会総会を終えて

平 田 哲\*

第36回日本手術医学会を札幌（ホテルロイトン札幌）で開催いたしました。学会テーマは「北の街で語ろう！さらなる周術期医療の質向上を目指して」としました。医学、医療は日進月歩で進化し、手術室を取り巻く環境も急激に変化しています。周術期医療の質の向上とそこで働く先生・スタッフの満足感をあげる方法が何か、語り合っていました。近年の手術部で行われる手術は、内視鏡外科手術、MRI・CTなどを利用した手術、ナビゲーション手術などコンピュータ技術により支援される手術、放射線診断装置を用いたハイブリッド手術、ロボット支援手術など大きく変化してきており、より患者さんにとって低侵襲で、より安全な手術をとというのが主流をなし、これまでとは全く次元の異なった新しい手術術式の開発が進められています。

今回の学会では、14年間手術部教員をしてきた私の経験より、会長講演は「手術部マネジメントで大切なものは何？」という題で、結論として「人」「教育」「連携」「中立性」がマネジメント上、重要であるとお話しました。特別講演は、大久保憲先生（東京医療保健大学）に「手術部診療の歩んできた道と将来 - 感染制御を踏まえて -」という題でご講演をいただきました。日本の江戸時代後半からの手術室での外科治療の歴史から今後のこの学会の歩むべき方向性を示唆いただきました。また、教育講演（安全管理：大阪大学 中島和江先生）、（感染対策：東京医療保健大学 尾家重治先生）、（麻酔：旭川医科大学 岩崎寛先生）、（看護：東京女子医科大学 諏訪茂樹先生）、（臨床工学：大阪大学 高階雅紀先生）と5人の日本の各分野の第一人者の先生にお話していただきました。特別企画と

して旭川を代表するガーデンデザイナーの上野ファームの上野砂由紀さんに「生命の輝き『北海道ガーデン』」の題でご講演いただきました。北海道ならではの庭づくり、麻酔科の岩崎教授もドラマ制作に関係したフジテレビの「風のガーデン」の舞台となった風のガーデンの庭づくりなどのお話しをしていただき、会員に癒しの時間を与えてくださいました。また「手術室で輝くチームの笑顔」というテーマで写真を公募し、優秀作品（神戸大学手術部）には記念品を贈呈しました。大学病院や地域基幹病院では10年間で約1.8倍の手術件数増加となりました。国立大学病院でも法人化の大波と包括医療費制度導入（DPC）が職員の意識を大きく変えました。地域医療、救急医療の社会的問題もあり、医育機関の大学でも手術件数は大きく増加し、



学会ポスター

\*旭川医科大学病院 手術部

手術診療報酬の改訂が2年毎に計られことにより、手術室は病院の中でもっとも経営に影響を与える部署として病院の中での重要性が再認識され、効率的な運用が強く求められてきました。

経済性については、学問的なエビデンスを作ることが難しい分野ですが、今回は経済性と運用の質の向上を意識したシンポジウムを組みました。特にシンポジウム1では「手術部が求める運営体制の充実が経営にも貢献しているか」、シンポジウム2「質の向上を目指した手術部運営の工夫」としました。安全性と効率

化は経済性と相反するテーマのように感じますが、実際は並行して進めなければならない重要な点であると考え、熱心なディスカッションが繰り広げられました。

直前に台風16号が関東地区を横切り、参加者はどうなるか心配しましたが、全く問題なく、晴天の2日間でした。大通り公園ではオータムフェストも開かれて、参加者も気分転換に行かれたかもしれません。秋の北海道らしい美味しい季節での学会を無事終え、ほっとしています。



会場：ホテルロイトン札幌